



## 広島県教育委員会における呉市内の県立高校の 統合，再編方針の見直しに関する要望書の提出について

本日，広島県知事，広島県議会議長，広島県教育委員会教育長に対し，呉市長及び呉市議会議長から，呉市内における高校の統合・再編の考え方について方針を見直していただくための要望書を提出しましたのでお知らせします。

なお，提出した要望書については，別添のとおりです。

### 【要望書提出日時・提出先】

令和8年1月16日（金）

- ・ 16時00分～ 広島県議会議長
- ・ 16時20分～ 広島県教育委員会教育長
- ・ 16時40分～ 広島県知事

様

要 望 書

広島県教育委員会における  
呉市内の県立高校の統合，再編方針の見直しについて

令和8年1月

呉 市

令和8年1月16日

様

広島県教育委員会における  
呉市内の県立高校の統合，再編方針の見直しについて

令和7年12月18日に広島県教育委員会において2033年度までに県立高校のうち22校を統合して9校に再編する方針を検討されている旨の報道がありました。

この報道の中で，本市にある呉三津田と呉宮原，呉工業と呉商業をそれぞれ再編する旨の記述がありますが，4つの高校には，長い歴史と伝統があり，市内はもちろん全国の各界で活躍されている人材を輩出しており，本市にとってかけがえのない高校です。

各高校には生徒，保護者，同窓生など多くの関係者がおられます。各高校の同窓会や保護者有志は，本市に対し，要望書を提出されており，大学への進学のコートとなっていることや地元企業が求める人材を輩出するための専門教育を行っていることといった強い存在意義を訴えられており，いずれも高校の存続を強く求めておられます。

また，各高校がある地域においても，地域住民の学校行事への参加や高校生による地域活動への参画が密に行われており，地域の活気がなくなることが懸念されています。

一方で本市においては，昨年4月には，呉市人口戦略対策本部を設置し，出生数の改善，魅力的なまちづくりなど，人口減少をできるだけ緩やかなものになるよう全庁あげて取り組んでおります。こうした検討と並行して，半導体製造装置の企業の工場増設やIT企業の立地が進むほ

か、日鉄跡地への防衛省による多機能な複合防衛拠点の早期整備の要望を行うなど、将来に向けた新たな雇用の創出にも取り組んでおります。

まちづくりの観点からも子育て世代が住む場所を選ぶ上で、多様な進学先があることは重要なことであると考えており、地元中学生の進学先の選択肢が減ることは、子育て世代の他地域への転出のきっかけになることが懸念されます。

こうしたことから、広島県、広島県教育委員会におかれましては、各高校に関係される方々の意見や本市が人口減少対策に覚悟を持って取り組んでいることを踏まえた上で、呉市内における高校の統合・再編の考え方について方針を見直していただきますようお願いいたします。

呉市長 新原 芳明

呉市議会議長 中田 光政